



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉自らよく考え、やり抜く生徒 ～夢の実現～

# 原町三中だより

令和元年12月4日(水)  
第26号  
発行責任者  
校長 鈴木 太  
電話 22-3802

## 優秀プログラミング賞受賞！ ～ スクールチャレンジ南相馬大会 ～

11月30日(土)に原町生涯学習センターにおいて、「スクールチャレンジ南相馬大会」が開催され、小学校部門、中学校部門に分かれて Pepper を活用したプログラミング学習の成果を発表しました。

本校からは、太田陽菜さん(3年)、田能沙夜香さん(3年)、鈴木誠さん(3年)の3名が参加しました。本校は市内中学校6校のうち4番目の発表で、グローバル化の進展に対応した英語学習のプログラミングを紹介し、見事「優秀プログラミング賞」を受賞しました。

他校生の取り組みを見ることや交流を図ることは、参加した生徒の皆さんにとっても大いにプラスになったと思います。



## 性教育出前授業 (1年)

12月2日(月)の5校時、1年生を対象に、国際ソロプチミストのご支援により「性教育出前授業」を行いました。講師には福島市「西ロクリニック婦人科」院長の野口まゆみ先生をお迎えし、「思春期のこころと体 ～きちんと知ってほしい性の話～」と題して、中学生の性に関する授業をしていただきました。授業後、1年生を代表して佐藤日向子さんがお礼のことばを述べました。



### 〔生徒の感想より〕

- ・思春期に起こる心と体の変化について、3つの出会いがあることを知りました。一人で悩まずに、他人に相談することも大切だということも知ることができました。また、相手のことも知る必要があることも分かりました。
- ・自立しているということは、居場所をいっぱい持っていること、頼る先をいっぱい持っていることだということが分かりました。さらに「ひとりで生きることじゃないよ」という言葉が印象に残りました。

### 国際ソロプチミスト

管理職・専門職に就いている女性の世界的人権組織で、人権と女性の地位向上を高める奉仕活動を行っています。

## 放射線教室

12月3日(火)の2～4校時に、放射線についての正しい知識を習得し、自ら考え、適切な行動がとれるようにすることを目的に、「放射線教室」を実施しました。講師に高エネルギー加速器研究機構から原子力・放射線部門の技術士である高橋一智様をお招きし、学年毎に観察や実験、ディスカッションなどを行いました。また、環境再生プラザ及び市健康づくり課の方々にもサポートしていただきました。

### 1年生

#### 「霧箱による放射線の観察」

放射線の基礎についての講義の後、個人ごとに霧箱を作成し、放射線が飛んだ跡を観察しました。



### 2年生

#### 「放射線の遮蔽実験」

校地内の6ヶ所でマッピング測定を行った後、講師の先生から放射線についての講義を受けました。



### 3年生

#### 「グループディスカッション」

講師の先生からの講義の後、風評被害について自分の考えをまとめ、さらにグループでディスカッションしました。

